

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		県民駅伝競走大会派遣事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020401000074
						単独/補助	単独		090501
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	スポーツ振興課
総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興						課長名	
政策名		02 生きがいや育む学びのまちづくり						グループ	スポーツ振興G
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興						担当者名	
手段名		01 ①スポーツをする機会の充実							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	01	02	00	保健体育総務事業		
法令根拠	茨城県民駅伝競走大会実施要項						単年度繰返し (平成9年度~)		
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>○茨城県民駅伝競走大会実施要項に基づき、毎年茨城県スポーツ協会が12月に主催する茨城県民駅伝競走大会に参加する。チーム編成は、職域の部、クラブ対抗の部、市町村対抗の部の3部門からなり、桜川市は市町村対抗の部に出場している。選手は中学生、高校生、一般で編成する。選手選考は桜川市陸上クラブを中心に市内中学校及び高等学校体育担当教諭に協力を求め選考会議を開き、直近の大会タイムを参考に選考を行ない、所属校に出場の承諾を得て大会に派遣している。</p> <p>○場所 ひたちなか市：笠松運動公園 ○参加チーム数(市町村対抗の部) 15チーム</p> <p>○区間 (6区間、約18.0Km) ○結果 15位</p> <p>○第1区(中学生男)第2区(高校女子)第3区(高校男子)第4区(中学女子)第5区(一般女子:中・高校生可)第6区(一般男子)</p>	<p>○選考会議の開催</p> <p>○在学校、勤務先への派遣依頼</p> <p>○大会参加申込み</p> <p>○行事保険加入</p> <p>○結団式の開催</p> <p>○大会引率</p> <p>○広報誌へ結果の掲載等</p> <p>○講師謝礼の支払い</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
<p>○選考会議の開催 ○在学校、勤務先への派遣依頼 ○大会参加申込み</p> <p>○行事保険加入 ○結団式の開催 ○大会引率 ○広報誌へ結果の掲載等</p> <p>○講師謝礼の支払い。</p>	大会開催数	回	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	参加者数	人	0.00	10.00	10.00	10.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	市内陸上愛好者	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
<p>・スポーツに親しみ、競技力の向上を身につける。</p>	桜川市参加チーム	チーム	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	15	32	
		事業費計(A)	千円	0	15	32	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

04年度事業費 実績 (千円)		05年度事業費 予算 (千円)		
07 報償費	7	07 報償費	17	
10 需用費	7	10 需用費	12	
11 役務費	1	11 役務費	3	
	合計	15	合計	32

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する			

事務事業名	県民駅伝競走大会派遣事業	事務事業No.	20401000074	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧岩瀬町で第14回大会（平成9年）から出場、広くスポーツに親しむ機会を与え、心身ともに健全で明朗な市民育成に努めることを目的に参加、合併後も引き続き桜川市として出場している。</li> </ul>					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も様々な選手が参加できるように継続して欲しいと要望が寄せられている。</li> </ul>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜川市の代表として参加できることに誇りが持て、選手個々がスポーツに親しみ競技力の向上を身につけるという意図に合致しており、生涯スポーツ社会を実現する手段となっている。</li> </ul>
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜川市代表として大会へ派遣する事業であるため、妥当である。</li> </ul>
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業を通して好成績を残し生涯スポーツ人口を増やすことが目的であるが、現時点では向上の余地はない。</li> </ul>
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅伝大会は本事業以外にない。</li> </ul>
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上クラブへの講師謝礼、選手への食糧費、傷害保険のみであるので削減余地はない。</li> </ul>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の代表として選手選考され、結果は市に受益をもたらすものであり、特定の受益者はいない。</li> </ul>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	高校生の選手を確保するのが困難である。今後も選手の人材発掘に努めて好成績を狙い、生涯スポーツ人口を増やしたい。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	低下	×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>